

午後10時まで飲酒、翌日8時、出勤途中にアルコール検出

酒気帯び運転で電柱に衝突 市職員を停職6カ月

2015年12月18日(金)22時51分

さいたま市は18日、酒気帯び状態で乗用車を運転し、事故を起こしたとして、市職員の男性(46)を停職6カ月の懲戒処分にした。男性は2月3日午前8時20分ごろ、乗用車で出勤途中にハンドル操作を誤り、電柱に衝突する事故を起こした。駆け付けた警察官が検査したところ、呼気1リットル当たり0・35ミリグラムのアルコールが検出された。男性は前日の午後10時まで自宅で焼酎約3合を飲んでおり、翌朝、酒が残っているとの認識がないまま乗用車を運転し、事故を起こしたという。

交差点 他の歩行者に先に行くよう合図をされて右折

両親が目を離したすきに道路横断 3歳男児、タクシーにひかれ死亡

◆他者にOK合図されても、追い越し時、右折時は、「自分の目」で確認◆

[2015/12/19 1:49]

18日午前11時半頃、静岡県でタクシーが信号のない交差点を右折しようとした際、横断歩道を歩いていた男児(3)をひいた。男児は病院に搬送されたがまもなく死亡が確認された。警察はタクシー運転手の男性容疑者(65)を過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕した。容疑者は、「他の歩行者に先に行くよう合図をされたため右折したところ、気づかずひいてしまった」と話しているという。

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

交差点手前、滑って交差点内で衝突 /注意

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

“スピードダウン”で安全運転

バック時は 降りて確認 乗っても確認

重点施策 「運転者教育の強化」

国交省、22日に事業用自動車の事故対策検討会

2015年12月18日(金)

国土交通省は22日、今年度最初の「自動車運送事業にかかる交通事故対策検討会」を開催する。交通事故の傾向分析、貨物自動車運送事業の運転者教育対策について話し合う。「事業用自動車総合安全プラン2009」で掲げた事業用自動車の交通事故死亡者数などを半減(08年度比)させる目標の達成に向け、関係者が有効な事故防止対策を講じることができるよう、近年の交通事故の傾向分析(マクロ分析)を行う。また、プランの中間見直しで14年度に重点施策として追加した「運転者教育の強化」についても検討を継続する。

午後4時 信号のない交差点 「左右をはっきり見ていなかった」

出合い頭に衝突、横転の車にはねられ、小6女児が意識不明の重体

2015年12月18日(金)5時39分

17日午後4時すぎ、京都市で、それぞれ東向きと南向きに直進していた乗用車2台が交差点で出合い頭に衝突、片方の車が横転し、近くを歩いていた小学6年の女子児童2人をはねる事故がありました。女子児童2人は頭などを強くうち、1人が意識不明の重体、もう1人も重傷です。警察は、車を運転していた会社員の男性容疑者(55)と会社員の男性容疑者(44)を、自動車運転過失傷害の疑いで逮捕しました。警察によりますと、現場は信号のない交差点で、容疑者は「左右をはっきり見ていなかった」と話しているということです。女子児童らは、友だちの家に遊びに行く途中だったということです。

午後5時 街灯のない、信号のない交差点 8歳男児が車にはねられ重体

[2015/12/18 18:07]

17日午後5時半頃、岡山県で、道路を渡ろうとした近くに住む男児(8)が横から来た乗用車にはねられ、頭などを強く打ち意識不明の重体。現場は信号の無い交差点で付近に街灯はなかった。

午後6時 右から横断 横断歩道で車にはねられ女性死亡

(2015年12月18日 11:59)

17日午後6時半ごろ、岩手県の国道で、右から横断歩道を渡っていた70歳の女性がライトバンにはねられ死亡しました。横断歩道に信号機はありませんでした。警察はライトバンを運転していた会社員の男性容疑者33歳を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕した。

「実家近くで気がゆるんだ」

自損事故で発覚、酒気帯びで県職員を懲戒免職

2015.12.17 15:37

徳島県は17日、酒気帯び運転をしたとして、県職員の男性(55)を懲戒免職にした。県によると、15日午後5時ごろ、自家用車で市内のホームセンターの駐車場に入ろうとした際、縁石に乗り上げる自損事故を起こし、呼気検査で基準値を超えるアルコールが検出された。実家に帰る途中で、車内に置いてあったカブの焼酎を飲んだという。「実家の近くだったので気が緩んでしまった」と話している。管理監督責任を問い、局長ら4人も厳重注意や文書訓告処分とした。